

① はまなか

議会だより

NO 118

平成28年10月25日発行



浜中の特産品を販売（さっぽろオータムフェストにて）

9月定例会

	散布漁港(火散布外港)の整備は	2P
予 算 議	琵琶瀬木道の改修は	3P~5P
一 般 質 問	3人の議員が町政を問う	7P~9P
	麗 澤 (佐々木 智夫 さん)	10P

散布漁港の公有水面埋め立てに同意

散布漁港(火散布外港) 完成予定は34年度

9月
定例会
7日・8日

散布漁港の整備は

◆関連質疑より

問 外港整備事業は当初計画が変更になり、規模を縮小しての新たな事業計画となった。必要な係留隻数や港内の静穏対策などは十分か。事業内容・総事業費・期間は。

完成後、航路に支障がない水域を養殖漁場として利用することは可能か。

また、現在、火散布橋の上流で実施しているウニ養殖を下流に移転することはできるか。

分港である渡散布漁港の整備および導流管設置などの水質環境対策は。

答 散布漁港整備は、平成14年に北海道が策定した整備計画によって実施され、西防波堤など整備されたが、平成24年に公共事業の評価が見直され事業継続が困難となった。新たに流通拠点港として第2種漁港に指定し、平成26年から7年間の

事業計画を策定し整備を進めるもの。その内容は

*係留施設としての岸壁が総延長161メートル。

*護岸整備は、新設140メートル、改良44メートル。

*防波堤は、新設180メートル、改良54・5メートル。

*漁港用地整備は、新設で3600平方メートル。

*輸送道路新設で405メートルなどである。

水深的にも5メートル以上の漁

船の係留が可能であり、係留方法にもよるが、相当数の係留隻数が確保できる。また、漁港出入り口の向きから、港内の静穏域は保たれる。

総事業費は、7年間で29億円を見込んでいたが、防波堤の整備費が数億円嵩むことから35億円程度となる。事業期間も2年延長となり平成34年度の完成予定。

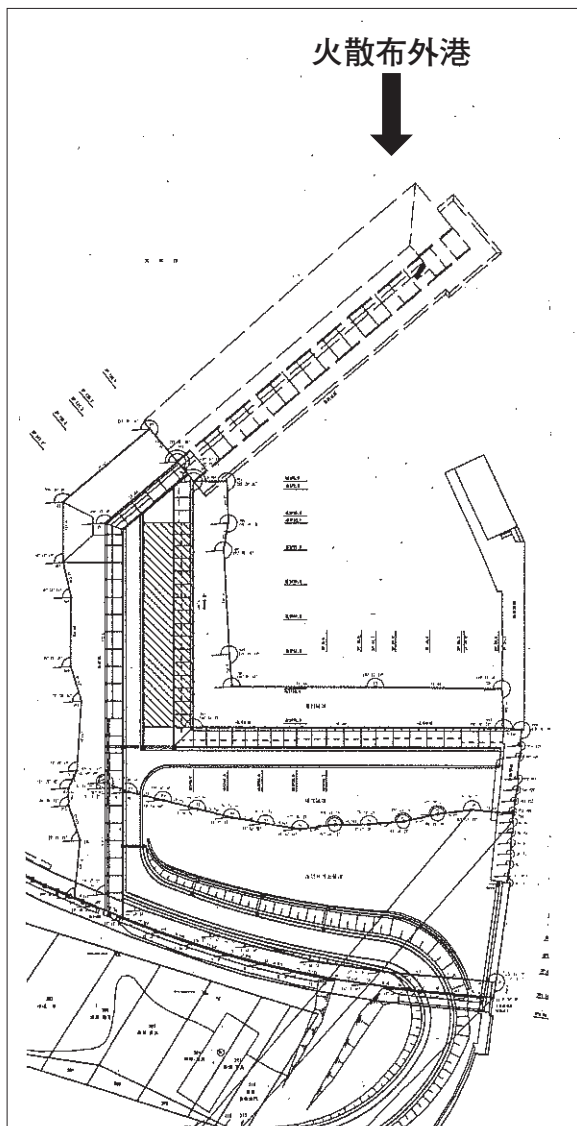
本事業は、係留施設整備としての漁港整備事業であるが、養殖魚場不足の解消は課題となっていることから、本事業を進めながら、漁業者・漁協・管理者である

北海道と協議・検討を重ねていく。

また、現在のウニ養殖事業は内水面漁業権を設定して実施しており、下流への移設は状況として可能と思うが、関係機関と協議していく。

渡散布漁港は、中央部に位置する胸壁を撤去してマインス2・0メートル物揚場の新設を計画している。28年度に調査設計をし、29年度以降施工予定。港内の水質改善には、水の循環を図ることが必要であり、方法なども含め北海道と検討していく。

火散布外港



補正予算 審議から

9月定例会が7日・8日の2日間の会
期で開催され、一般会計・介護保険特別
会計・浜中診療所特別会計補正予算など
(追加議案含む) 7議案が上程され、い
ずれも原案どおり可決しました。

一般会計補正予算は8265万円を追
加し、予算総額64億7845万円となり
ました。

一般質問では、3人の議員が登壇しま
した。

琵琶瀬木道の改修は

問 3347
万円で改修す
る琵琶瀬木道
の完成時期、
耐用年数と年
間利用者数は
また、観光
PRの必要性
は。

答 10月発注
で3カ月半程
度の工期を要
し全長477

メートルで改修内容は、高床式53
メートル、スロープ21メートル、浮き橋
式258メートル、木チップ歩道



老朽化が進んだ琵琶瀬木道

145メートルである。
完成は平成29年2月とな
る予定である。耐用年数は
15年の見込みで現在の利用
者数は把握していないが、今
後、琵琶瀬展望台の入込み

調査と同様に実施したい。
また、観光PRは、情報
誌「じゃらん」や浜中町の
ホームページを利用して実
施する。

港湾管理修繕料の内容は

問 港湾施設
修繕料113
万円の内容は。

答 霧多布港
照明灯補修5
基50万円のほ
か施設補修費
で63万円を計
上。

その内訳は、
①臨港道路関
連で、

※信金裏のテ
ニスコート
付近の縁
石・舗装の
復旧・グレ

ーチングの補修と浜中漁
協店舗横の雨水舂の嵩上
げで23万円。

※琵琶瀬湾水取場の道路陥
没補修と暮帰別地区物揚
場(飯高商店加工場側)
の碎石敷設で32万円。
②陸開非常用発電機の補修
8万円である。

町営住宅の管理体制は

問 町営住宅の家電処理手数料約16万円の概要は、昭和42年建設の茶内A団地2棟8戸に付随する物置内に冷蔵庫10台・テレビ7台・洗濯機9台の家電製品が放置されており、その処理手数料であると説明されたがいつ放置を確認したのか。

家電製品の所有者を特定し、その人に処分させるのが原則である。不法投棄とも思える入居者の特定はできなかつたのか。入居者のモラルを心配するが、町担当課の施設管理も極めてずさんであり、遺憾に思う。

今後における適正な管理対策とリサイクル料金の算定根拠の精査を。

答 家電製品の放置を確認したのは本年8月19日であり、所有者の特定は、平成24年に全ての入居者が退居してから4年経過しておりそれ以前からの家電も放置されていたのではと推測さ

れるので、所有者は特定できない状況にある。施設管理は、団地全体の見回りはしていたが物置を特化しての見回りはしておらず、ずさんな管理と指摘

され反省している。今後の対策は、退居の際に現場をしっかりと確認することを徹底するとともに入居者へも周知したい。また、リサイクル料金は町のゴミ分別ガイドに示されているが、予算措置は業者見積もりによる計上である。

町が処理できないごみの扱い方

◆家電製品4品目の処理 ●テレビ ●洗濯機・衣類乾燥機 ●エアコン ●冷蔵庫・冷凍庫
●家電製品4品目を排出するときは下記の町内家電小売店に申込みください。



町内の家電小売店

(有)中原電器商会 65-2462

浜中町ゴミ分別ガイドより抜粋

ふるさと納税の趣旨は

問 ふるさと納税の本来の趣旨は自分が育ったふるさとへの善意の気持ちで寄付（納税）するもので、返礼品目当てになっ

ているように思う。この制度は寄付者にとって税制面で優遇措置もあり、返礼品を見直すべきと思うが。また、具体例として1万円をふるさと納税した場合の所得税と町道民税が安くなる税額控除に関する説明と27年度の納税実績は。

答 ふるさと納税は応援したい市町村に寄付し、その市町村の活性化につなげてほしいとの趣旨で寄付するもの。返礼品目当ての寄付は、全国的傾向であり、総務省から金銭類似性の高いもの（商品券など）、資産性の高いもの（貴金属など）を控えるよう通達があった。

ふるさと納税の27年度実績は、1706件、1821万円、およそ1万円平均である。返礼品は町のPRや産業振興にもつながるので、今後もこの方式でいきたい。

なお、ふるさと納税として1万円を寄附した場合は、2000円を差し引いた額の8000円が所得税から所得控除され、税率に応じて400円から3600円控除される。

また、町道民税は所得税同様に所得税分を差し引いた残りの4400円から7600円が税額控除されるため、自分が住んでいる市町村の税収が減ることになる。



返礼品の一例

8月の台風による

災害復旧費関連

最終処分場の補修内容は

町道災害復旧の状況は

問 温水プールの屋根は、かまぼこ型であり、強風により剥がれたと思うがどの程度の補修か。

答 町民温水プールの災害復旧費380万円は、西側の妻側の破風の部分9平方メートル位の範囲で剥がれた。全体では56平方メートルであり、2次災害を考慮え全面補修するもの。

問 復旧内容と最大の損害箇所および現在の復旧状況は。

答 道路5カ所の決壊と路面浸食190カ所の計195カ所。大きな損害箇所としては南6号の西10線から12線の道路決壊で総額97

0万円の復旧費である。

また、通行止めとなった町道はないが、道道火散布茶内停車場線で、道路のり面が崩壊し8月22日から9月10日まで片側通行。9月14日より全面開通の予定である。

水産施設の補修箇所は

問 災害復旧費121万円の補修箇所は。

答 この度の補正は、続発した台風による水産関連道路7カ所の復旧費を計上。
*産業用通路は湯沸下海

岸・後静・アザラップ・赤泊の4地区。

*町有干場搬入路は湯沸・霧多布山の2カ所。
*幌戸サケ捕獲場の管理道路である。

問 補修費29万円は、鉄管を買うとの説明を受けたが防風ネットなどもかなり腐食していると思うが鉄管だけで済むのか。

答 このたびの台風続きで被害があり、埋立地の防風ネットには影響が無かったが、木製の杭が折れたため鉄管で支え補強を行うもの。なお、作業については処分場の職員2人と担当職員で対応して行う。

台風被害により根元から折れた杭

道徳教育推進事業とは

問 道徳教育推進事業委託金31万円の予算が計上されている。この事業の内容は。また、いじめ対策は。

答 学習指導要領の趣旨ならびに児童生徒、学校、家庭および地域などの実態を踏まえ、創意工夫を生かした道徳教育の実践研究を行い、その成果を普及することにより、道内の道徳教育の充実に資することが趣旨である。

に茶内中学校で管内への成果の普及を図るため、道徳の時間の授業公開と実践発表を行う。

いじめ対策は、学校教育として道徳教育、人権教育、生徒指導といった面から、いじめを許さない心、態度の育成に力を注いでいきたい。

その他の主な歳出（一般会計）

歳出の内訳	金額
林業専用道開設工事 (茶内中円線 L=1,000m)	2,000万円
湿原センター煙突補修	270万円
地域水道(姉別)配水管補修	163万円
浜中中学校給湯設備補修外	137万円

教育委員の任命に同意

掛水優氏は、9月30日付で任期満了となることから、無記名投票の結果、全会一致で任命することに同意しました。



掛水 優氏（西円朱別）

意見書

可決

◇林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

*森林環境税（仮称）等を早期に創設し、森林の整備や木質バイオマスの有効利用など、森林吸収源対策を推進すること。

*森林の多面的機能を持続的に発揮し、林業・木材産業の振興と山林における雇用の安定化を図るため、森林整備事業及び治山事業の財源を十分かつ安定的に確保すること。

*森林資源の循環利用を通じて林業・木材産業の成長産業化を実現するため、地域の実情を十分に踏まえ、森林整備から木材の加工、流通、利用までの一体的な取り組みに対する支援措置を充実・強化すること。

（全員賛成）

水道事業会計剰余金を減債積立金などに積み立て

地方公営企業法により、剰余金の処分は議会の議決が必要。

平成27年度剰余金2196万円の処分は減債積立金1196万円と自己資本金に1000万円を積み立てるもの。

決算審査特別委員会を設置

平成27年度の各会計の決算書が監査委員の意見書を添えて議会に提出されたことにより、議長・監査委員を除く10名の議員による委員会を設置し、閉会中の継続審査とした。

第1回臨時会（8月8日開催）

II 工事請負契約を可決II

□学校給食センター改築工事（建築主体工事）

（契約先）赤石・村井経常建設共同企業体
（工期）平成29年11月30日
（契約金額）3億9150万円

□学校給食センター改築工事（機械設備工事）

（契約先）三建・太平洋経常建設共同企業体
（工期）平成29年11月30日
（契約金額）2億2248万円

（取得金額）1億3716万円
（納期）平成29年11月30日

□学校給食センター改築工事（電気設備工事）

（契約先）高部・矢原・中原経常建設共同企業体
（工期）平成29年11月30日
（契約金額）1億1329万円

II 財産の取得を可決II

□学校給食センター厨房設備機器一式

（取得先）日本調理機株式会社
社北海道支店
（取得金額）1億3716万円
（納期）平成29年11月30日

一般質問

川村 義春 議員



問

道道の避難道整備と
避難タワーは

答

MGロードの改修と
複線化を優先

川村 MGロードのY字交差点の改修と複線化に向けた今後の改修工事概要は。また、道が27年度に自動車による津波避難の交通シミュレーションを実施。Y字交差点をT字型にし、茶内方向へ50%程度の1車線を拡幅、短い区間の譲り合いレーンとする局部改良により津波到達時間内に避難が可能との報告があった。課

川村 避難道整備を優先し、避難タワー建設要望を控えてきたが、道路の決壊や電柱の倒壊など高台への避難が困難となる地域の思いをそろせる形にできな

題もあるので検討を加えている現状。工事概要は未定。**川村** Y字交差点をT字に改修することは理解できるが譲り合い車線は事故が心配。
町が委託した基礎調査で示された3車線化（現在のマウント式歩道を路盤改良して車道とし、下り専用にして現道2車線を上り専用）を道に要請しては。
町長 町は、道の家ではなく、歩道を改修しての3車線化（せめて寿磯橋付近の合流）が基本と思っている。



早期に事業着手が求められるMGロード交差点

問

浜中歯科診療所の再開は

答

10月18日から再開したい

川村 6月定例会の答弁で

いか。
町長 町民が少しでも早く高台に避難できるMGロードの複線化整備を最優先に考えている。
その後、避難タワーの調査設計を含め、時間を要するが計画的に進めたい。

「後任の歯科医師が決まるまで週3回程度午前中に再開する。」と説明を受けたが、その動きが無い中で出された自治会配布のお知らせは、「しばらくの間、休診を継続する」との内容で再開の時期など記されていない。休診の理由と再開の目処は。
町長 休診が長引いたのは6月定例会後に歯科助手2人の退職でスタッフ不足が原因。9月に歯科助手1人が補充され、新たなシフト調整によって10月18日からの再開となる。
診療日は火曜日と木曜日の午後2時から5時までの受付で児童生徒が受診しやすい時間帯に配慮した。
川村 新任歯科医師を探せない場合は、浜中歯科の委託契約を解除して町が開業医を公募してどうか。
町長 現所長に浜中歯科を委ねた経緯があるのでしっかり経営して欲しい。町が別の開業医を公募するのは難しいと思っている。

一般質問

田甫 哲朗 議員



田甫 茶内保育所の現状と課題は。

町長 児童数は0歳児〜5歳児まで65人。保育室が4部屋しかなく、法的基準は満たしているが、2つの年齢層でひとつの保育室を使用しなければならぬ状況であること、保育室によっては人数に対しての必要面積が足りないなどの問題が生じている。

問 茶内保育所
改築へのプロセスは

答 地域ごとの
人口推計を策定して



手狭な保育室（茶内保育所）

また、霧多布保育所でのみ実施している一時預かり保育・子育て支援センターの開設も必要である。さらに、建物は耐震基準以下であり児童・保育士の安全面から必要である。

町長 施設規模を決める上で、保育所の適正配置を定めることが必要とのこと。そこへ向かうプロセスは。

町長 地域保育所の存続を望む声もあり、児童にとって望ましい保育環境・保護

者として利用しやすい保育所など、保護者の意見を聞き進めていくべきと考えている。

町長 協議する上で、必要な資料・データは。

町長 保護者ニーズは基より、将来児童数の推計、小学校の箇所数など。

町長 地域ごとの人口ピジョン策定が必要と考えるが。

町長 現在ある「年齢別人口調べ」を基に、早急に人口推計の策定作業を進め、

町長 協働のまちづくりの基本となる考えは。

町長 協働のまちづくりの基本的な考えは。

町長 協働のまちづくりの基本的な考えは。

町長 協働のまちづくりの基本的な考えは。

町長 協働のまちづくりの基本的な考えは。

町長 協働のまちづくりの基本的な考えは。

一般質問

加藤 弘二 議員



問 災害時の支援体制は

答 防災計画の中で対応したい

起きた時には自動的に支援体制が組まれるような組織作りや、訓練がされるべきと考えるが。

町長 現在の防災対策は自衛隊や海上保安庁、消防、警察など支援の要請を役場から行うようになってくるが、それ以上のことは今後の課題として検討したい。

加藤 夏、昆布の採取中に大地震、大津波が発生した時、沖で漁をしていた漁師は何処に避難することになっているのか。

町長 漁師は、いかりを引き上げ、自分の船着き場の近い所で漁をしている人は自港に戻ると思うし、遠くで漁をしている人は近くの砂浜に船を乗り入れるか、場合によっては沖に出て波の引くのを待つて待機しているか、それぞれの判断によるものだと思う。

加藤 長い海岸線を持つ浜中町なので、てんでんに散らばって避難している様子や所在を確かめるためにも自衛隊や海上保安庁のヘリコプターが必要になる。冬、二つ玉低気圧が来て

猛吹雪の時、町の防災担当課から外出を控えるよう指示がなされるときに、大地震、大津波が来た時の対策はどうなるのか。

町長 そのような場面では完全防寒具をまとって高校や体育館など高い建物に避難するしかないと思う。

加藤 このような場合には防災タワーが完備していれば亡くなる命も救われることになる。吹き溜まりとなっ

た雪の上に津波が押し寄せた場合完全にアウトで、外部からの支援が必要になってくる。外部からのさまざまな支援を受ける体制も整えておくことが大切だと思うが。

町長 町の防災計画の中で対応していきたい。外部からの支援も受け入れたいが、町内山間部の住民の支援体制の充実に努めたい。



北海道警察と消防の合同訓練（霧多布港）

加藤 東日本大震災では、生きながら亡くなっていく姿を見、鬼怒川決壊では水の中から助けを求める住民がへりに救われる姿を見、熊本地震では大勢の自衛隊員に救われる場面を見てきた。町の防災計画では、自衛隊や海上保安庁、消防、警察の力を借りることが明記されているが、大地震、大津波が予想される事態が

麗澤

「浜中学」を学んで

霧多布高等学校3年A組

佐々木智夫



○揮毫 書道部3年 中田 茜さん
○読み方 れいたく
○意味 共に助け合いながら学ぶこと。

子どもの夢を育て
幸せなまちをつくりましょう。
(町民憲章より)



芋ほりを満喫する子どもたち(霧多布保育所)

私たちが住んでいる浜中町は、酪農ではハーゲンダッツアイスクリームにも使われている牛乳や、漁業では全国の水揚げ量の1割を占める昆布など、全国で消費される高品質な農水産物を生産しています。

しかし、そんな浜中町にも問題があります。一つ目は産業・漁業における後継者不足です。これにより産業が衰退してしまいます。二つ目は、知名度の低さです。昨年、私たちは見学旅行の際、京都駅で浜中町の昆布配りを受け取った。その時、昆布を受け取ってくださった方に聞いてみると、浜中町を知っている人はほとんどいませんでした。これら問題を解決していくため

にはどうすればいいでしょうか？

現在行われている後継者問題の解決策として、酪農業では就農者研修牧場で研修生を受け入れていきます。養成された研修生は、離農後の牧場に後継者がいなければ、その土地と設備を受け継いで新規就農します。しかし、このような取り組みは、漁業ではされていません。そこで、漁業でも酪農業で行っている取り組みを応用したり、船舶を購入する際に補助金を出す制度を創るなど、後継者を増やしていく対策を考えなければいけません。

次に、知名度をあげるための対策として、ルパン三世のオリジナルラッピング列車やバスがあります。しかし、これらは釧路管内を移動するだけで、他管内ではあまり知られていません。オリジナル列車が道南や道央を走ることで注目されるのではと考えます。また、多くの人に浜中町を知ってもらうために、道外でも宣伝活動をする必要があります。宣伝方法として、道外の市町村を実際に訪問し浜中町の産業や特産品を紹介するためのPR動画を浜中学の授業で作ってみることも良いのではないかと考えます。

「浜中学」を通して、浜中

町の産業についてたくさん学ぶことができました。これからは若い世代の私たちが浜中町をどのようにしていきたいか考え、積極的に意見を出し合い、行動に移すことが大切だと思います。そして、私たち町内の若者も自分にできることを考えて町の産業を支える後継者育成への取り組みや、浜中町を全国の人に知ってもらう取り組みをしていくべきだと思えます。その第一歩として、私は近い将来、役場の職員として浜中町の発展に貢献できる人物になることを夢見ています。

表紙の写真

さっぽろオータムフェスト2016が9月9日(金)から10月1日(土)に開催され、浜中町は9月16日(金)から9月20日(火)までの5日間出店。ほっきめし、ほっき貝焼き、真つぶ焼きなど、浜中町の特産品を使った商品が販売し、多くの人が訪れ浜中町のPRにつながりました。

また、ふるさと浜中会の人々のご協力のもと盛会に終えることができました。

あとがき

北海道に直接来ないと言われた台風が、8月に入り相次いで上陸。河川の氾濫、家屋、収穫間近の作物、ライフラインも寸断され、尊い命も奪われています。

被害の多さは、日を増すごとに拡大、過去最悪に匹敵する被害規模となつていきます。

「自然災害だから仕方がない」と肩を落とす姿に、胸が痛みます。

わが町も例外ではなく、農林水産業に被害が出ています。自然災害の多い国に住んでいることを、忘れてはならないと感じます。

自然災害に万全を期することはできずとも、一人一人が防災を考え、できる限り災害に強い暮らし方をしたいものです。

被害に遭われた人々が一日も早く穏やかな日常がくることを心から祈っています。

(委員 堀金)